



学校教育目標

自ら考え判断し、自信をもって
行動する子を育てる

エージェンシー
(子ども主体の学び)

心理的安全性
(失敗できる環境)

みんなが笑顔
(持続的で魅力ある学校)

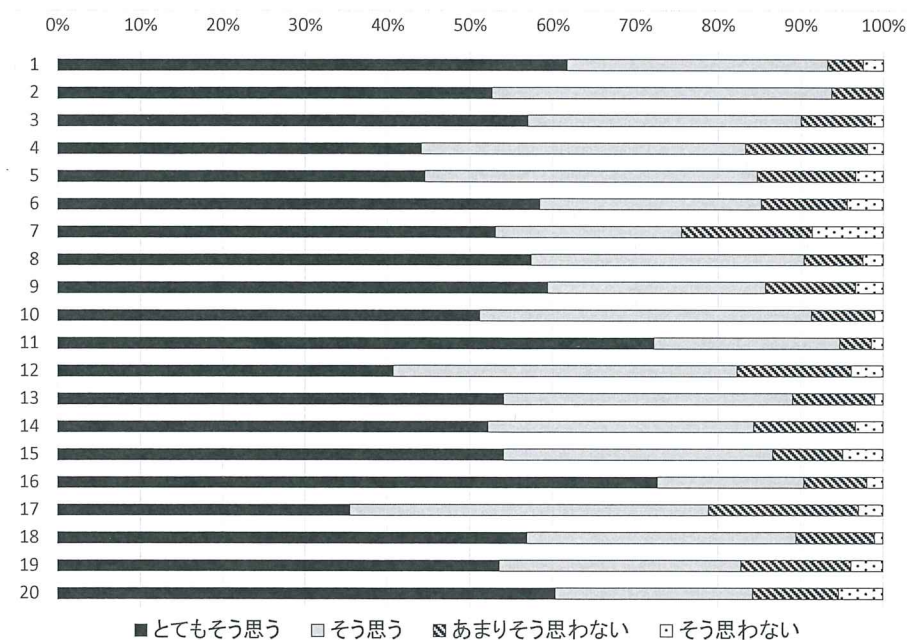
保護者の皆様には、第2回「学校評価アンケート」（12月実施）にご協力いただきありがとうございました。保護者・児童・教職員のアンケート結果をもとに、成果や課題を分析しました。分析結果を全教職員と共有し、保護者・地域の皆様と共に連携を図りながら、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

特集 学校評価（1）



児童集計

1	がっこうは たのしい。	11	クラスには たすけあえる ともだちがいる。
2	がっこうのがくしゅうは よくわかる。	12	いろいろなせんせいと はなしたり そうだんしたりしている。
3	いろいろなせんせいが じゅぎょうしてくれるのは たのしい。	13	「しきんのやくそく」を まもっている。
4	じぶんから もんだいをみつけ、かいけつほうほうを かんがえている。	14	じぶんから げんきにあいさつを している。
5	がくしゅうしたことを ともだちとはなしあったり ぶんにかいたり はっぴょうしたりしている。	15	じぶんのもちもの せいりせいとんができて いる。
6	かていがくしゅう（しゅくだいなど）は じぶんからす すんで している。	16	たのしくあそんだり うんどうしたり している。
7	ほんを すすんで よんでいる。	17	しせいをたたくして がくしゅうしている。
8	GIGAたんまつを がくしゅうどうぐとして つかいこ なしている。	18	てあらい・うがい・はみがきはいつもして いる。
9	じぶんには よいところがある。	19	はやね・はやおきをし、あさごはんをたべて いる。
10	あいてのきもちをかんがえて はなしたり こうどうし たりしている。	20	きゅうしょくは、すききらいせず たべて いる。



●設問4では、前回より肯定的な回答が6ポイント増えました。2学期には、スポーツフェスティバルや音楽集会など、学校・学年全体で取り組む大きな行事や学習活動が多くなったことで、自分たちから進んで取り組みたいことを決めたり、目標に向けてみんなで協力して活動したりすることを通して、児童自らの主体性が発揮され、自己決定力や他者から学ぶ姿勢が育っていたのではないかと考えます。

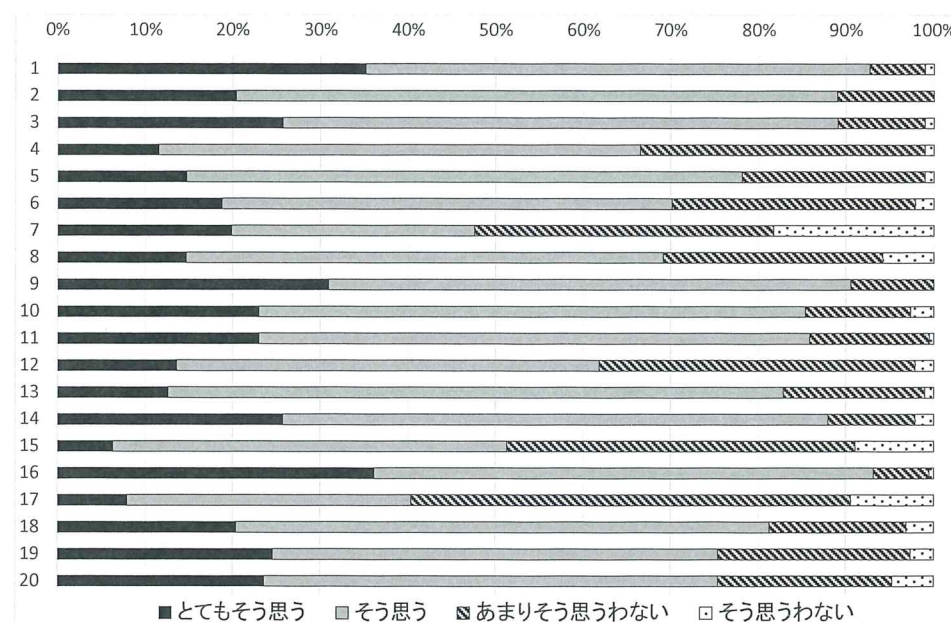
●設問7では、前回より肯定的な回答が8ポイント減りました。保護者の方からのアンケートでは「家ではゲーム機をしていることが多い。」というご意見もあり、家庭では読書に向かえていない傾向も見られます。読書は、児童にとって、学習の基盤となる言語能力を培い、新たな知見や価値と出会う大切な機会です。今後も図書ボランティアさんや学校図書館司書とも連携を密にし、豊かな読書習慣を身につけられるよう取り組んで参りたいと思います。

●設問12では、前回より肯定的な回答が5ポイント増えました。前回のアンケートでは全体の2割程度の児童が否定的な回答をしていることを受け、教職員一同、悩みや困りを抱えている児童がいないかを、これまでより一層意識して指導に当たってきました。今後も、教職員間で情報共有を徹底し、児童の様子を見守りたいと思います。



保護者集計

1	わが子は楽しく学校へ行っている。	11	わが子には困った時に助け合える友達がいる。
2	わが子は学習内容を理解している。	12	わが子は学級担当以外に、いろんな先生と話したり相談したりしている。
3	わが子は学年担任や教科担任の授業を楽しみにしている。	13	わが子は家庭の約束を守っている。
4	わが子は自分から問題を見つけ、解決しようとしている。	14	わが子は家族や知り合いの人とあいさつをかわしている。
5	わが子は学習したことを、自分で考えた方法で自信をもって表現している。	15	わが子は身の回りの準備や後片付けができて いる。
6	わが子は家庭学習（宿題など）を自分から進ん でしている。	16	わが子は楽しく遊んだり運動したりしている。
7	わが子は本を読む習慣がある。	17	わが子は食事や学習をしている時、姿勢を正しく している。
8	わが子はGIGA端末を学習道具として上手に使え ている。	18	わが子は手洗い・うがい・歯磨きの習慣がついて いる。
9	わが子のよさや頑張りを認め、ほめている。	19	わが子は早寝・早起き・朝ごはんの習慣ができて いる。
10	わが子は相手の気持ちを考えて行動している。	20	わが子は好き嫌いせず食べている。



●設問5では、肯定的な回答が4ポイント増えました。スポーツフェスティバルや音楽集会、学習発表会など、児童が主体的に取り組んできた学習の成果の発表の場をたくさん見ていただけたのではないかと考えます。児童の記述アンケートからも、各行事で頑張れたことが、自分の自信につながっているようです。

●設問7では、前回より肯定的な回答が10ポイント減りました。全国学力学習状況調査の質問紙調査では、家に100冊以上あると回答した児童が全国平均よりも多いことから、家に本にふれる環境が整っていても、読書に向かえていない傾向があります。ぜひ、ご家庭でも、読書を話題にして親子で話し合っていたいただければ幸いです。

●設問8では、前回と同様で肯定的な回答が70%、否定的な回答が30%でした。この数年で、GIGA端末等のICT活用は、教職員や児童にとって「特別なもの」から「日常的なもの」へとなり、授業においても、教育の情報化が大きく進んでいます。一方で、保護者の方からは、「GIGA端末使用による視力の低下」や「家庭学習では、学習以外の使用が見られる。」という課題をあげられるご意見もありました。学校としては、GIGA端末活用時の健康上のルールに留意するよう指導するとともに、家庭学習での活用の仕方を再度確認していきたいと思います。

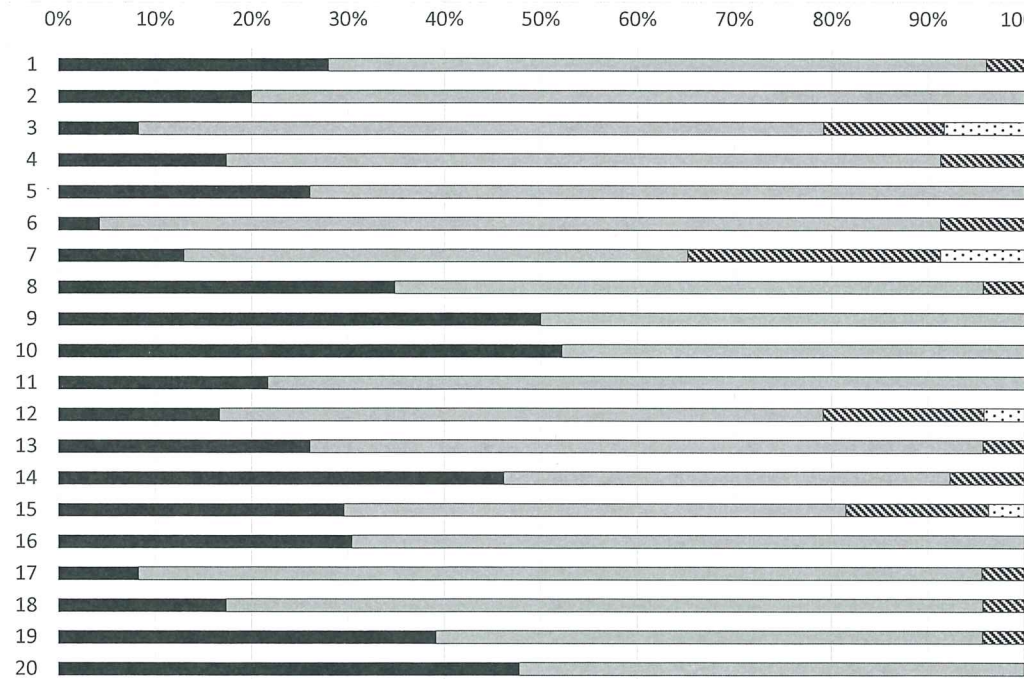
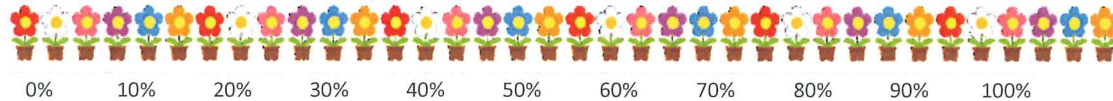
特集 学校評価（2）



教職員集計



1	学校が楽しくなるよう工夫をしている。	11	仲間意識を高め、協力し合える学級づくりに取り組んでいる。
2	わかる（習得）→できる（活用）→生かす（探究）を目指した授業改善を図っている。	12	担当学級だけでなく、チームで学年や全校の子どもと関わり、指導を進めている。
3	教科担任制によって、授業改善を図っている。	13	「しきんのやくそく」を守るよう指導している。
4	子どもは問題意識をもって主体的に学びが進められるよう指導している。	14	子どもたちの見本となるよう笑顔であいさつをしている。
5	目的や場に応じた方法で、自信をもって表現できるように指導している。	15	整理整頓された教室環境に努めている。
6	家庭学習（宿題など）に主体的に取り組めるよう指導している。	16	楽しく遊んだり運動したりできる機会をつくっている。
7	毎日、読書に親しめる機会をつくっている。	17	子どもたちが姿勢を正しくできるよう指導している。
8	子どもたちがGIGA端末を効果的に活用する学習活動を積極的に進めている。	18	手洗い・うがい・歯磨きの定着に努めている。
9	子どものよさや頑張りを認め、ほめる指導をしている。	19	早寝・早起き・朝ごはんの大切さを指導している。
10	相手の気持ちを考えて行動するよう指導している。	20	給食を残さず食べるように取り組んでいる。



■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない □ そう思わない

●設問8では、肯定的な回答が前回同様95%と高い水準でした。GIGA端末を活用するにあたり、教職員は「児童主体の活用」を意識して取り組むことで、GIGA端末は児童にとってより身近なものになり使いこなせる技能が着実に身につけてきました。しかし一方で、情報モラルに関わるトラブルに巻き込まれる危険性も考えられます。今後も、デジタルならではの強みを生かした学習活動を充実させるとともに、情報モラルの指導にも力をいれていきたいと思っています。

●設問12では、前回より肯定的な意見が10ポイント減っていました。複数の目で、多くの児童の様子を見て共有し指導していくことには一定の成果は感じているものの、複数の教員がチームで指導していくために、ルールやきまりなどの指導の一貫性や児童の情報を共有する時間の確保などに課題を感じている教員が多くみられました。

●設問15では、前回より肯定的な回答が10ポイント減りました。様々な学習や行事が重なり、忙しさから整理がおいつかなくなったことが原因にあげられます。常に教育環境を整備しておくことは子どもたちにとっても手本となります。学校としても、学年担任が余裕をもって教室整備ができるよう、会議や行事など精選していきたいと思っています。



学校教育目標

自ら考え判断し、自信をもって 行動する子を育てる

エージェンシー
(子ども主体の学び)

心理的安全性
(失敗できる環境)

みんなが笑顔
(持続的で魅力ある学校)

～学校運営協議会より～ いただいたご意見ご感想

- ・学習発表会の様子を参観した。大人が勉強になるくらい、各自が学習課題に沿って調べたいことを実体験をもとに調べ、グループで役割分担しながら発表していた姿に感動を覚えた。
- ・地域には、地域主催の多くの取組がある。そのような取組に子どもたちが参加し、自分の住んでいる街を知ったり、より良くしようという気持ちをもってほしい。
- ・児童集計の設問11にあるように、子どもたち同士の信頼関係の高さが見受けられる。（学校より：学習の中に「協働」「話し合い」を取り入れた主体的な活動を多く取り入れるようにしている。その中で、互いの良さや思いやりを感じ取り、ともに高め合っている姿が見られる。それらがよい効果を示していると考える。）
- ・同じ設問について子と親の数値が、大きく異なるものが見られる。考え方の一つとして、親は子どもの「できていないところ」に目を向けてしまいがちだが、「子どもの自己肯定感の高さを、親が肯定的に捉えることで、子どもをより一層伸ばすことができる」というように考えることも必要だと思った。
- ・（設問7について）子どもに出会わせる本をどう選べばよいかというところに悩むことが多い。学校で、子どもたち同士が楽しく読めた本を紹介し、どんな本が読みたいか話し合う時間をもつなどすればどうか。家で子どもが「〇〇を読みたい」「□□について、何かいい本ないかな」とつぶやくようになると、「本との出会い」が増やせるかもしれないと思った。親世代も子どもが読む本についての情報を得るようにしていきたい。
- ・GIGA端末の持ち帰りの際、親から「どのように使っているかわからない」「学習以外のことに使っていることがある」等の困りがある様子がうかがえる。デジタル教材・デジタル教科書が普及してくると、ますます学校での学習が親の目に触れにくくなる不安がある。持ち帰りの際には、学習時以外は親が管理することで解消できる不安もある。
- ・アンケートで見えることがたくさんあり、きちんと分析し、学校教育に生かしてほしい。



～学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました～

結果から、本校の教育が地域の皆様・保護者の皆様のご理解と温かな見守りに支えられていることを再確認するとともに、本校の課題も明らかにすることができました。

今後も、学校教育目標『自ら考え 判断し、自信をもって行動する子を育てる』の具現化をめざし、取組を進めて参りたいと思います。

京都市では、今日に至る教育改革の柱として、徹底して「開かれた学校づくり」を推進してきました。これは、学校と家庭・地域との相互の信頼と協働の関係を構築する基盤となっています。今後も、保護者や地域の方々に参画いただき市民ぐるみ・地域ぐるみの教育を展開していきます。変化の激しい現代社会において、子どもたちが自ら考え判断し、自信をもって行動し、未来を切り拓いていけるように「生きる力」を育み、社会全体で子どもたちの教育に取り組んでいくことが大切です。子どもたちの豊か学びと育ちのために、なおいっそうのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。